



ITUAJより

国際電気通信連合 (ITU) は、1968年10月に、ITUの基礎となった最初の万国電信条約が署名された日 (1865年5月17日) である5月17日を「世界電気通信日」と決めました。

その後、2005年11月、世界情報社会サミット・フェーズ2で5月17日を「世界情報社会の日」とすることが宣言され、さらに、2006年11月に開催されたITU全権委員会議では、「World Telecommunication and Information Society Day (世界情報社会・電気通信日)」とし、従来の「世界電気通信日」よりもいっそう幅広い趣旨を盛り込んで祝賀することが決議されました。

日本ITU協会では、毎年「世界情報社会・電気通信日のつどい」を開催しております。コロナ禍の影響を受け、過去2回は開催時期や方法を工夫してきましたが、2022年は3年ぶりに、5月17日に開催することができました。当日の様様をトピックスでお伝えしております。どうぞご一読ください。

ITUジャーナル読者アンケート

アンケートはこちら https://www.ituaj.jp/?page_id=793

編集委員

委員長	亀山 渉	早稲田大学
委員	菅田 洋一	総務省 国際戦略局
〃	山口 大輔	総務省 国際戦略局
〃	石川 幸恵	総務省 国際戦略局
〃	竹内 謹治	総務省 総合通信基盤局
〃	中川 拓哉	国立研究開発法人情報通信研究機構
〃	荒木 則幸	日本電信電話株式会社
〃	中山 智美	KDDI株式会社
〃	福本 史郎	ソフトバンク株式会社
〃	熊丸 和宏	日本放送協会
〃	大島 佳介	一般社団法人日本民間放送連盟
〃	菰田 正樹	通信電線線材協会
〃	中兼 晴香	パナソニックオペレーショナルエクセレンス株式会社
〃	牧野 真也	三菱電機株式会社
〃	長谷川一知	富士通株式会社
〃	飯村 優子	ソニーグループ株式会社
〃	神保 光子	日本電気株式会社
〃	中平 佳裕	沖電気工業株式会社
〃	小川 健一	株式会社日立製作所
〃	吉野 絵美	一般社団法人情報通信技術委員会
〃	島田 淳一	一般社団法人電波産業会
顧問	齊藤 忠夫	一般社団法人ICT-ISAC
〃	橋本 明	株式会社NTTドコモ
〃	田中 良明	早稲田大学

編集委員より

新しい季節

KDDI株式会社

なかやま ともみ
中山 智美



コロナウイルス感染症の影響によりこれまでの仕事の進め方や生活スタイルが激変し、今までは当たり前と思っていたことがどんなに有難いありがたいことだったのか痛感されている方が多いかと思えます。

標準化活動は対面での会議はもとより、ブレイク等のちょっとした雑談も重要であり、国内外問わず自由に出張できなくなったらどうになってしまうのだろうと多くの標準化活動ご関係の皆様は不安に感じていたこと思えます。リモート会議を活用した日常を新生活様式フェーズ2だとするとリモート会議等にも次第に慣れて、少しずつ対面会合も開催されるようになってきた最近はリモート/リアル/デュアルを活用する新生活様式フェーズ3なのではないでしょうか。

個人的には休日に自由な外出が難しかった頃に、以前に買っておいたのに読んでいなかった本 (所謂、積ん読) を読み始めたり、動画配信サイトで新しい技術で世の中はこうなる等の面白そうなコンテンツを探して楽しんでいました。知らないことや分からないことが年齢を重ねるほどに増えていると思っていたのですが、知っていたはずのこと、分かっているつもりでいたことすら、近年の研究等により定説が覆っていたり、これまで常識とされていたことも時代とともに変化していることを痛感しています。

新しい知識の吸収を心掛けるフェーズ2は終わり、仕事や日常生活で新しいもの、知らないことを勉強しつつも今持っている情報や考え方のアップデートも必要なフェーズ3が始まったと考えています。

メリハリのある仕事や生活を実現するためには、気持ちも大事ですが肉体的健康も大切。

毎日の通勤はそれなりに運動になっていたようです。在宅の割合が増えてすっかりなまってしまった体を立て直すべく、無理なく続けられる運動をいろいろ考えています。

皆様も心と体のリフレッシュのために、新緑の季節をどうぞお楽しみください。

ITUジャーナル

Vol.52 No.6 2022年6月1日発行/毎月1回1日発行

発行人 山川 鉄郎

一般財団法人日本ITU協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-17-11

BN御苑ビル5階

TEL.03-5357-7610(代) FAX.03-3356-8170

編集人 岸本淳一、石田直子、清水万里子

編集協力 株式会社クリエイト・クルーズ

©著作権所有 一般財団法人日本ITU協会